

# 「分析化学」特集「イオンクロマトグラフィーの新展開」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、イオンクロマトグラフィー研究懇談会と共同で「イオンクロマトグラフィーの新展開」と題した特集を企画しました。イオンクロマトグラフィー (IC) は、1975 年、Dow Chemical 社の Small らによって発表された論文を機に、種々なイオン成分の分離定量法として開発が進められました。IC はイオン交換カラム、溶離液バックグラウンド除去装置 (サプレッサー)、導電率 (電気伝導度) 検出器での構成が一般的ですが、サプレッサーを用いないノンサプレッサー型、強電解質から弱電解質のイオンを分離するイオン排除型、陰・陽イオンをそのイオン対として分離する静電型など様々な分離モードが開発されています。一方、IC は公定分析法への適用も進められており、環境水、上水・下水、食品等を中心に幅広い分野で用いられています。IC は既に確立された分析方法であると考えられているところもありますが、近年では、半導体分野や医療分野における極微量イオン成分の高感度測定、環境分野におけるクロムやヒ素のような化学形態によって毒性が異なる成分の同時分離など、多種多彩な成分への対応ニーズが高まっています。

上記背景に鑑み、本特集号では、方法論の新規開発にとどまらず、実試料からイオン成分の分離、濃縮などを目的とした前処理方法、これまでに適応されなかった分野での IC の利用、IC に代わるイオン分離定量法の提案など、様々な分野への応用や適用例に関する論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。

## 記

1. 特集論文の題目：「イオンクロマトグラフィーの新展開」
2. 特集論文の対象：“イオンクロマトグラフィー及びそれに関連する前処理や検出方法”に関連する研究成果を含むもの。
3. 論文の種類：総合論文、報文、技術論文、ノート、アナリティカルレポート
4. 特集論文の投稿規定及び投稿の手引き：一般論文に準拠（「ぶんせき」2018, No.3, 又は URL = [https://www.jsac.jp/sites/default/files/bunka/toko\\_j\\_201802.pdf](https://www.jsac.jp/sites/default/files/bunka/toko_j_201802.pdf) 参照）
5. 特集論文の審査方法：一般論文に準拠
6. 特集論文の申込方法：投稿カード (Excel ファイル) に所定の事項を記入 (論文種目欄と特集名「イオンクロマトグラフィーの新展開」を選択) し、「分析化学」編集委員会あてにお申し込みください。投稿カードのうち、題名、著者は暫定のもの、原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。投稿も電子メールにてお願いします。テンプレートによる投稿要領 (<http://www.jsac.jp/node/51>) を参照してお送りください。
7. 投稿方法：「テンプレートファイルによる投稿要領 (<https://www.jsac.jp/node/51>)」を参照し、論文投稿フォーム (<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/toukou.html>) よりご投稿ください。
8. 特集論文申込締切：2018 年 8 月 24 日 (金)
9. 特集論文原稿締切：2018 年 10 月 12 日 (金)
10. 特集論文掲載号：第 68 巻第 3 号の予定。
11. 特集論文に関する申し込み・問い合わせ先：〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 (公社)日本分析化学会「分析化学」編集委員会 [電話:03-3490-3537, E-mail : [bunkatoukou@jsac.or.jp](mailto:bunkatoukou@jsac.or.jp), URL = <http://www.jsac.jp/bunka>]